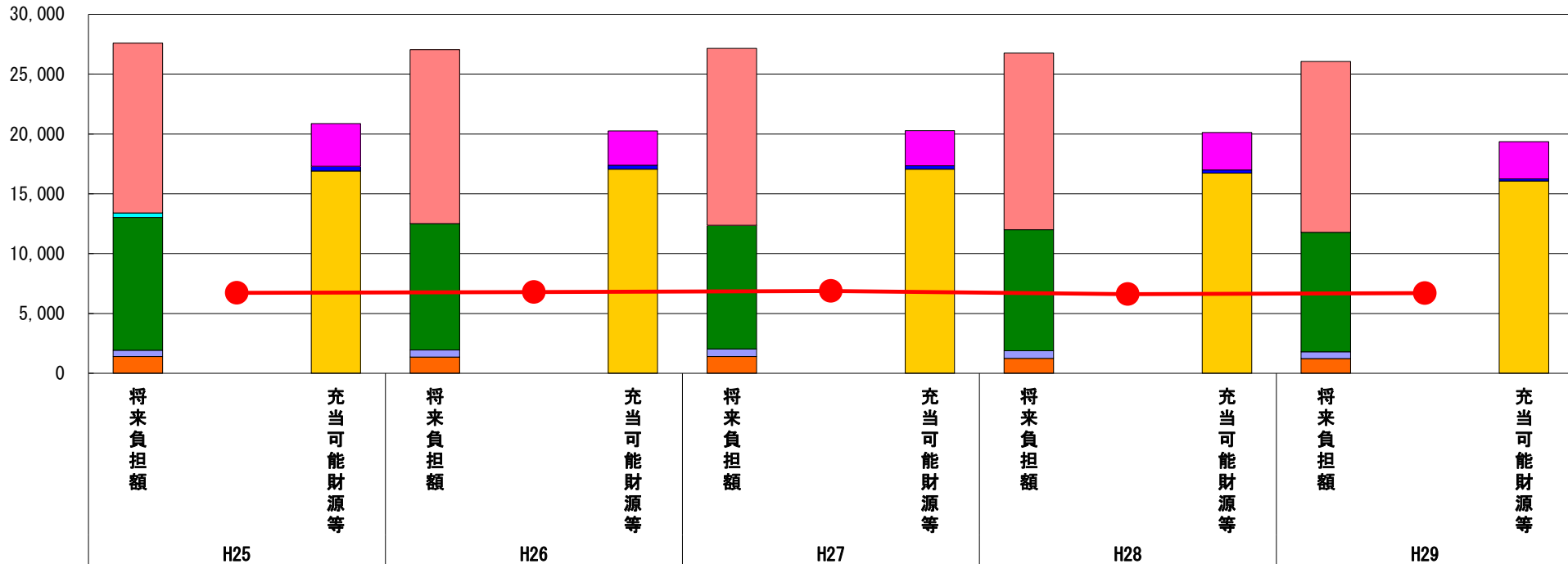


(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

京都府京丹波町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		14,184	14,520	14,784	14,748	14,264
	債務負担行為に基づく支出予定額		367	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		11,094	10,556	10,328	10,102	9,992
	組合等負担等見込額		519	606	636	643	555
	退職手当負担見込額		1,412	1,352	1,401	1,254	1,240
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		3,565	2,865	2,934	3,142	3,115
	充当可能特定歳入		386	331	284	249	177
	基準財政需要額算入見込額		16,907	17,053	17,054	16,735	16,068
(A) - (B)	将来負担比率の分子		6,719	6,786	6,876	6,622	6,693

分析欄

将来負担額のうち一般会計等に係る地方債現在高は、道の駅「京丹波味夢の里」整備事業やデジタル防災行政無線整備事業等の大型事業の実施により、増加傾向となっていたが、平成29年度に繰上償還（87百万円）を実施したことにより減少となった。

しかしながら、平成30年度以後においては新庁舎の整備等により地方債現在高は再び増加することが見込まれる。

また、将来負担額から差し引かれる充当可能基金は、繰上償還の実施により減債基金の取崩しを行ったことから、対前年度27百万円の減少となった。

引き続き、将来世代に過度な負担の先送りがないように財政運営に取り組む。

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。